

大会規定

東京都少年サッカー連盟第 14 ブロック
2021 年度版

2021/03/31

2021/04/07 改訂

目次

大会共通規定	3
1. 参加資格	3
2. 競技規則	3
3. 表彰	6
4. 組み合わせ	6
5. その他	6
大会別規定	8
<<東京都U-12サッカー14ブロックリーグ>>	8
1. 参加資格	8
2. 競技規則	8
<<JFA 全日本 U-12 サッカー選手権大会 東京都大会 14 B ブロック予選>>	9
1. 参加資格	9
2. 競技規則	9
<<J A 東京カップ東京都5年生サッカー大会 14 ブロック予選>>	10
1. 参加資格	10
2. 競技規則	10
<<ハトマークフェアプレーカップ東京都4年生サッカー大会 14 ブロック予選>>	11
1. 参加資格	11
2. 競技規則	11
<<14ブロック 5年生大会>>	12
1. 参加資格	12
2. 競技規則	12
<<14ブロック 4年生大会>>	13
1. 参加資格	13
2. 競技規則	13
<<TOMAS 東京都3年生サッカー交流大会 14 ブロック予選>>	14
1. 参加資格	14
2. 競技規則	14
<<14 ブロック 3年生大会>>	15
1. 参加資格	15
2. 競技規則	15
8人制競技規則	16
1. 人数について	16
2. 交代の手続き	16

3. 不正入場に関して	16
4. 補助審判について	17
5. P K戦について	17
6. その他.....	17
ユニフォーム規定.....	18
<ユニフォーム>	18
<ユニフォームの色彩>	18
<ユニフォームへの表示>	19

大会共通規定

1. 参加資格

- ① 当年度、(財)日本サッカー協会第4種及び女子(小学生)に登録したチームで、活動拠点が14ブロック内(小平市・東村山市・東大和市)であること。
- ② 14ブロック役員会で承認されたチームであること。
- ③ チームの構成は単一チームに限られ、年間を通じて継続的に活動していること。
- ④ 選手は(財)日本サッカー協会に個人登録を済ませてあるものに限る。

注：2年生以下においては、確実に3年生以上の大会に出場しない選手に限り、(財)日本サッカー協会に個人登録を行う必要はない。

- ⑤ 年間を通してスポーツ傷害保険に加入していること。

2. 競技規則

- ① 試合は、当年度「日本サッカー協会競技規則」に準ずる。
- ② 試合がトーナメント戦の場合、両チームが同点・無得点の場合には、3人ずつのPK方式とする。
注：東京都大会へ推薦する大会の場合、**代表が決まる試合については前後半各5分の延長戦を行った上、同点の場合はPK戦にて決定する。延長戦に入る前のインターバルは、5分とする。**
- ③ リーグ戦の順位は1.勝ち点(勝ち…3・引き分け…1・負け…0) 2.得失点差 3.総得点 4.当該チームの直接対決 5.抽選の順で決定する。

参考試合(試合不成立)が発生した場合の取り扱い

東京都少年サッカー連盟主催大会については、14ブロック委員長預かりとして東京都少年サッカー連盟の裁定による。

14ブロック独自大会は当該チームを除いたチームにて順位を決める。(当該チームの試合は全て無効とする)

- ④ ベンチに入る選手数は制限無しとする。自由な選手交代とする。
- ⑤ ベンチに入る監督及びチーム役員は2名以上、5名までとする(2021年度は3名までとする)。
- ⑥ ベンチ入り指導者のうち、U12-リーグ戦・ハトマークフェアプレーカップ・JFA東京カップ
JFA全日本U-12サッカー選手権・TOMAS3年生交流大会については、最低2名の(財)日本サッカー協会認定D級指導者資格以上あること。また、複数チーム出場のベンチ入り指導者の重複は認めない。

その他、ブロック独自大会のベンチ入り指導者については、上記資格取得者最低1名以上とし、複数チーム出場のベンチ入り指導者の重複は可とする。

- ⑦ 特記なき限り14ブロック制定の選手登録表を使用し、**当該第1試合開始30分前迄にJFA選手登録証と一緒に本部に提出すること。**

注：試合毎に選手の背番号が変わる場合は、当該試合開始30分前までに選手登録表を本部へ提出すること。

- ⑧ 2学年下の選手を出場させる場合は、健康管理・安全管理に関し、代表者・監督が十分に考慮する。
- ⑨ 大会中に退場処分を受けたものは、次の試合に出場できない。

(警告回数が2に達した場合も同処置とする)

東京都U-12サッカーブロックリーグにおいて、東京都少年サッカー連盟競技運営に則る。(同一リーグにおいて警告累積3回は次の試合に出場出来ない。累積は前期・後期リーグ終了時に消滅する)

- ⑩ 大会の試合中に退席処分を受けたチームの監督及びチーム役員は、次の試合にベンチに入ることにはできない。
- ⑪ 給水タイムを用いる場合、アディショナルタイムにカウントする。(作戦タイムではない。約1分を目安とする。)

但し、7月～9月で開催する大会で、WBGT値28℃以上の場合でのクーリングブレイク(3分)を設ける場合は、ピッチ及びベンチからの移動、戦術的指示も認める。

- ⑫ 8人制大会のコートサイズは、6年生大会と5年生大会(68m×50m)、4年生以下の大会(60m×40m)が望ましいが、固定式のゴールやグラウンドの面積が足りない場合には、その限りではない。
- ⑬ 試合球は、4号球ボールとする。スパイクは固定式に限る。ゴールは、少年用とする。
- ⑭ 試合を担当するチーム帯同審判員は、審判証を携帯し(スマホ等によるアプリでの提示も可とする)、試合開始前に本部に提示すること。

また、正しく審判服(上下とも正規の審判服であること)を着用し、装飾品(指輪、ネックレス等)は外すこと。

- ⑮ 14ブロック主催の大会では、同一チームで2チームの参加を認める。また、2チームとも中央大会に出場することが出来る。

複数チームエントリーについて、該当学年のみで合計20名以上の登録選手がいる場合とする。但し、14ブロック独自開催の大会(3年生・4年生・5年生)については、該当学年のみで合計17名以上で1チーム6名以上の登録選手がいる場合とする。

J A東京カップ5年生大会については該当学年のみで32名以上の登録選手がいる場合とする。(複数エントリーチームの登録選手は2チームとも該当学年のみとし、下級生を含むことはできない)
5人制の場合該当学年：1チーム4名以上の登録条件満たしていれば、2チーム以上の参加を認める。

注(補足)

- ・2チーム参加の場合、代表者会議開始前までに14Bメンバー表を運営部へ提出する。
- ・抽選では、同一母体チームの一次リーグ戦は、チーム同士の対戦をしない組合せを考慮するが、二次リーグ戦以降は考慮を行わない。
- ・対象学年の年度の最初の大会でのシードチームで2チーム参加の場合、1チームはシードチームの扱いを行うが、他の1チームは通常の抽選を行う。対象学年の次大会のシードチームは、前回の大会の結果で決定する

- ・ 2 チーム参加チームが会場提供の場合で 3 チームリーグ× 2 以上の試合ができる場合、会場チームとの調整で同一会場の調整を行う場合がある。
 - ・ 2 チームが同一リーグになった場合、同一母体チーム試合の審判割当にならないように出来るだけ組合せを調整する。
 - ・ チーム名は 母体チーム名+アルファベット 1 文字とする。
 - ・ JFA 全日本 U-12 サッカー選手権大会東京都大会出場決定戦で 4 チームを東京都へ推薦する。
- ⑩ 審判については、各チーム 2 名の審判員を帯同させる事。(審判部及び本部で行う場合あり)
- ・ 審判 4 審制を採用する大会で 4 チームリーグの場合は、試合対戦以外のチームで行うこと。
3 チームリーグの場合は、主審・予備審を試合対戦以外のチームにて行い、副審を対戦チームよりそれぞれ 1 名で行うこと。
※例外規定 U12 リーグ戦で 1 試合のみを実施する場合、当該 2 チーム了承の上、当該チームで主審・副審を決定して試合を行うことが出来る。
 - ・ 審判 1 審制+補助審を採用する大会で 4 チームリーグの場合は、試合対戦以外のチームで行うこと。
3 チームリーグの場合は、試合対戦以外のチームにて主審・補助審の 2 名で行うこと。
 - ・ 1 4 ブロック全ての大会において、審判員の眼鏡着用は認めません。
(スポーツ眼鏡の着用については認めます)
- ⑪ 3 ピリオド制の採用大会の細則
- ・ 選手登録表：
3 ピリオド専用の選手登録表を使用する事。
注：第 1 ピリオド、第 2 ピリオド、第 3 ピリオドの出場選手を事前に決定し提出する事。
提出後、当該試合の出場選手に変更がある場合、事前に審判へ申告する事で認める。
 - ・ 選手の人数：
試合の選手の人数が 1 6 名未満の場合、出場資格はありません。(参考試合)
常に両チームとも 8 人の選手で試合を行う。
注：当日中に退場・負傷等で選手の人数が 1 6 名未満になった場合も同様。(参考試合)
 - ・ 選手の交替：
第 1、第 2 ピリオドは総入れ替えをすること。※第 1、2 ピリオド中に自由な交代はできない。第 3 ピリオドのみ自由な交代とする。負傷者が出た場合は選手を補充して良い。ただし同一選手の出場は 2 ピリオドまでとし、3 ピリオドで全てに出場することはできない。延長戦については前後半同一選手の出場ができる。
 - ・ サイドの決定：
第 1 ピリオド・第 2 ピリオドは前後半制と同様にコイントスでサイドを決定し、第 2 ピリオドはサイドをチェンジする。第 3 ピリオドのサイドはコイントスで決定し、約半分(目安 6 分)が経過したところでサイドをチェンジする。(キックオフで再開する) タイミングは審判に委ねる。
延長戦時、前後半制と同様にコイントスでサイドを決定する。
 - ・ 給水について：

飲水タイムは採用しない。(但し、7月～9月での開催時には【「熱中症対策ガイドライン」における14ブロックの対策について】に準じて採用とする場合あり)

3. 表彰

1位～4位チーム…トロフィー・賞状

4. 組み合わせ

① 14ブロック代表者会議にて抽選を行う。

② 前大会の上位8チームをシードとする。

前大会のブロック大会ベスト4チームを第1～4シードとし、第1シードから順に一次リーグの1組～12組の抽選を行う。抽選では 第1シード～第4シードは 二次リーグで対戦しない一次リーグの組に割り当てる。

残りの4チームを第5シードとし、抽選により一次リーグの各組みに分散して組み入れる。

注：一次リーグで他のシードと対戦しない。

(前大会が都合により、中止や打ち切りで上位8チームが決まらなかった場合には、該当する大会まで遡りその大会結果を採用する。)

但し、前大会でベスト8進出が決まっているチームがある場合には、そのチームを次大会シードチームとする)。

全大会とも、全参加チームで抽選を行う。

③ 代表者会議には、チームの代表者 またはその代わりの者が必ず出席すること。

④ 会議には決定権のある代表者または、代表権のある者が出席すること。

5. その他

① 7月～9月に開催される大会での熱中症対策については、2016年6月30日付【「熱中症対策ガイドライン」における14ブロックの対策について】に準ずる事とする。

② 大会規定、競技規則(少年連盟大会要項・ハンドブック参照)に違反する選手ならびにチーム、また審判や、本部、及び会場等へ懲戒罰行為をした選手、監督、コーチ代表者、父母等関係する参観者は、その内容によって処分される。

③ 試合途中での天候不良(ゲリラ豪雨・雷雨)により、試合続行が不可能と判断した場合は、以下の措置で対応する。

◆試合途中で中止となった場合の措置

得点差	前半終了まで	前半終了時点	後半開始～終了まで
同 点	再試合	再試合	再試合
2点差以内	再試合	再試合	再試合
3点差以上	再試合	再開試合	再開試合

※1. 中断試合で発生した試合での懲戒罰は、再試合に持ち越さない。

※2. 中断試合で再開試合の場合のベンチ入り選手については、追加は出来ない。

- ※ 3. 再試合、再開試合の場合のベンチ入り指導者の変更については、可能とする。
- ※ 4. 再試合、再開試合の場合の審判員変更については、可能とする。(変更が生じる場合は、事前に両チームへ連絡すること)
- ※ 5. 再試合は、前半から試合を実施する。再開試合は、後半から試合を開始する。

大会別規定

<<東京都U-12サッカー14ブロックリーグ>>

1. 参加資格

6年生以下で編成されたチームであること（東京都U-12ブロックリーグ用の選手登録表を使用すること）

2. 競技規則

- ① 大会方式は東京都U-12サッカーリーグ1部及び2部参加チームを除いた参加可能なブロック加盟チームにて、前期リーグ → 後期リーグを実施する。
 - 1) 前期リーグは全参加チームで行い、9チーム以上のリーグ戦にて実施する。**前期リーグの組分けは、前年度後期リーグの結果と2019年度14B4年生大会の成績を考慮して決定する。**
 - 2) 後期リーグは前期リーグの成績により9チーム以上のリーグ戦にて実施する。
※チーム数については、9チーム以下になる場合あり。
 - 3) 各リーグは幹事・副幹事チームを選出し、参加チーム協力してリーグ運営を行う。
 - 4) 前・後期リーグ戦は、参加チームが各々会場を提供して行う。4月24日から12月12日までの開催とする。各ブロック加盟チームは、予めブロックより決められた指定日に、各ブロックの会場提供の不足を除き、試合を実施する。試合は、原則 土曜日・日曜日・祝日の開催とする。各ブロックの加盟チームは、指定日に会場提供を行うこと。加盟チームは最低、月に2日間（出来れば半日以上）の会場提供を行う義務がある。会場提供が出来ない加盟チームは各ブロック幹事チーム・副幹事チームへ連絡する事。チーム使用の会場が狭い場合、幹事・副幹事チームへ連絡して、了解を得ること。指定日解除条件は[14B版細則](#)を参照。
1日の試合数は1チーム最大2試合まで、連続する土日2日間で3試合までとする。
 - 5) 試合時間は、前期リーグは40分（前後半20分・インターバル5分）、後期リーグは30分（前後半15分・インターバル5分）とする。
※2021年度は30分（前後半15分・インターバル5分）とする。
- ② 8人制による競技とする。（4審制）
別紙、試合の時程表で審判の割当を行う。
- ③ 後期リーグ戦上位1位～4位の内1チームを14B委員長の推薦で、当該チームは東京都U-12サッカーリーグ2部昇格戦への出場資格を得る。委員長の推薦基準は、14B運営への協力度、東京都U-12サッカーリーグ1部・2部の大会運営規則の運営等が出来ると認めたチームとする。

<<JFA 全日本 U-12 サッカー選手権大会 東京都大会 14 Bブロック予選>>

1. 参加資格

6年生以下で編成されたチームであること。事前登録した選手のみ出場できる。

(U-12ブロックリーグ用の選手登録表を使用すること)

2. 競技規則

① 大会方式は東京都U-12サッカーリーグ1部及び2部参加チームを除いた、U-12サッカー14ブロックリーグに参加したブロック加盟チームにて実施する。

1) トーナメント戦とし、東京都U-12サッカーブロックリーグ・前期リーグでの成績によりシードを決める。参加チームが会場を提供して行う。

2) 試合時間は全試合40分(前後半20分・インターバル5分)とする。但し、1日3試合以上
の場合は30分(前後半15分・インターバル5分)とする。

※2021年度は30分(前後半15分・インターバル5分)とする。

② 8人制による競技とする。(4審制)

別紙、試合の時程表で審判の割当を行う。

③ 決勝トーナメントの1～4位をJFA全日本U-12サッカー選手権東京都大会に推薦する。

<< J A 東京カップ東京都 5 年生サッカー大会 1 4 ブロック予選 >>

1. 参加資格

5 年生以下で編成されたチームであること。

2. 競技規則

① 大会方式は一次リーグ（3 6 チーム例） → トーナメント

一次リーグは全参加チームで行い、3 チームリーグにて実施する。その結果によりリーグ戦、若しくはトーナメント戦を行い、決勝リーグ及びトーナメントは 6 チームにて順位を決する。

前年度、1 4 B 4 年生大会の上位 8 チームはリーグ戦の組合せシードとする。

該当の 8 チームが無い場合、対象チームのみシードとする。

大会運営上の都合により、リーグ戦を用いない場合もある。

② 試合時間は一次リーグ戦、二次トーナメント戦 4 0 分（前後半 2 0 分・インターバル 5 分）とする。

※2021 年度は 3 0 分（前後半 1 5 分・インターバル 5 分）とする。

決勝リーグ及びトーナメントは、第 3 ペリオド制を採用する

第 3 ペリオド制の時間は、1 2 分×3 ペリオド(12-1-12-5-12 分)とする。

- ・ 第 3 ペリオドは半分(6 分)でエンドを交代する。
- ・ 同点の場合は、P K 方式(3 名)により勝者を決定する。3 位決定戦は 1 0 分(前・後半 5 分)の延長戦を行う。
- ・ 第 1、第 2 ペリオドは総入れ替えをすること。第 3 ペリオドのみ自由な交代を認める。
- ・ 負傷者が出た場合は選手を補充して良い。ただし、同一選手の出場は 2 ペリオドまでとし、3 ペリオドで全てに出場することは出来ない。

延長戦については、前後半同一の選手の出場ができる。

③ 8 人制による競技とする。(4 審制)

別紙 試合の時程表で審判の割当を行う。

④ 決勝トーナメントの 1 ～ 3 位を東京都中央大会に推薦する。

大会のベスト 8 は 1 4 B 5 年生大会のシードとなる。

<<ハトマークフェアプレーカップ東京都4年生サッカー大会 14ブロック予選>>

1. 参加資格

4年生以下で編成されたチームであること。

2. 競技規則

- ① 大会方式は一次リーグ全参加チームで行い、3チームリーグにて実施する。その結果によりリーグ戦、若しくはトーナメント戦を行い、決勝トーナメントは4チームにて順位を決する。

トーナメント戦が同点で終了した場合は、PK方式(3名)により勝者を決定する。3位決定戦は10分(前・後半5分)の延長戦を行う。

前年度、14B3年生大会の上位8チームはリーグ戦の組合せシードとする。

該当の8チームが無い場合、対象チームのみシードとする。

シードの組合せは、大会参加チーム数で決定する。

- ② 試合時間は、1日2試合以内は40分(前後半20分・インターバル5分) 1日3試合以上の場合
は30分(前後半15分・インターバル5分)とする。

※2021年度は30分(前後半15分・インターバル5分)とする。

- ③ 8人制による競技とする。(4審制)

別紙、試合の時程表で審判の割当を行う。

- ④ 決勝トーナメントの1～3位をフェアプレーカップ中央大会に推薦する。
⑤ 大会のベスト8は、14B4年生大会のシードとなる。

<< 14ブロック 5年生大会 >>

1. 参加資格

5年生以下で編成されたチームであること。

(次年度U12-東京都U-12サッカーリーグ1部及び2部参加チームも出場出来る)

2. 競技規則

- ① 大会方式は一次リーグ全参加チームで行い、3チームリーグにて実施する。その結果によりリーグ戦、若しくはトーナメント戦を行い、決勝トーナメントは4チームにて順位を決する。

14BJA東京カップの上位8チームはリーグ戦の組合せシードとする。

該当の8チームが無い場合、対象チームのみシードとする。

- ② 試合時間は、1日2試合以内は40分（前後半20分・インターバル5分）1日3試合以上の場合は30分（前後半15分・インターバル5分）とする。

※2021年度は30分（前後半15分・インターバル5分）とする。

- ③ 8人制による競技とする。（4審制）

別紙、試合の時程表で審判の割当を行う。

- ④ 当大会の成績は次年度の東京都U-12サッカー14ブロックリーグの組合せに反映する。

<< 14ブロック 4年生大会 >>

1. 参加資格

4年生以下で編成されたチームであること。

2. 競技規則

- ① 大会方式は一次リーグ全参加チームで行い、3チームリーグにて実施する。その結果によりリーグ戦、若しくはトーナメント戦を行い、決勝トーナメントは4チームにて順位を決する。
14Bハトマークフェアプレーカップの上位8チームはリーグ戦の組合せシードとする。
該当の8チームが無い場合、対象チームのみシードとする。
- ② 試合時間は、1日2試合以内の場合は40分（前後半20分・インターバル5分）、1日3試合以上の場合は30分（前後半15分・インターバル5分）とする。
※2021年度は30分（前後半15分・インターバル5分）とする。
- ③ 8人制による競技とする。（4 審制）
別紙、試合の時刻表で審判の割当を行う。
- ④ 当大会のベスト8は、次年度のJ A東京カップ大会のシードとなる。

<<T O M A S 東京都3年生サッカー交流大会 14ブロック予選>>

1. 参加資格

3年生以下で編成されたチームであること。

2. 競技規則

- ① 大会方式は一次リーグ全参加チームで行い、3チームリーグにて実施する。その結果によりリーグ戦、若しくはトーナメント戦を行い、決勝リーグまたは、トーナメントは4チームにて順位を決する。
14B3年生大会上位8チームはリーグ戦の組合せシードとする。
該当の8チームが無い場合、対象チームのみシードとする。
- ② 試合時間は、1日2試合以内の場合は30分（前後半15分・インターバル5分）、1日3試合以上の場合は24分（前後半12分・インターバル5分）とする。
- ③ 8人制による競技とする。（1審制+補助審判1名）
別紙 試合の時刻表で審判の割当を行う。
- ④ 大会のベスト8は、次年度のフェアプレーカップ大会のシードとなる。
- ⑤ この大会の上位6チームを中央大会に推薦する。

<< 14 ブロック 3年生大会 >>

1. 参加資格

3年生以下で編成されたチームであること。

2. 競技規則

- ① 大会方式は一次リーグ全参加チームで行い、3チームリーグにて実施する。その結果によりリーグ戦、若しくはトーナメント戦を行い、決勝リーグまたは、トーナメントは4チームにて順位を決する。
- ② 試合時間は、1日2試合以内の場合は30分（前後半15分・インターバル5分）、1日3試合以上の場合は24分（前後半12分・インターバル5分）とする。
- ③ 8人制による競技とする。（1審制＋補助審判1名）
別紙 試合の時刻表で審判の割当を行う。
- ④ 大会のベスト8は、TOMAS 3年生交流大会のシードとなる。

8 人制競技規則

1. 人数について

- ① 前半の試合開始時には、両チームはフィールド上に、8 人の競技者が必要となる。両チームとも 8 人いなければ、試合は開始されない。
- ② 試合の進行中に、一方または両方のチームがフィールド上に 8 人いない場合でも、試合は続行される。
- ③ 試合終了時、フィールド上に 6 人未満の場合は、試合は不成立となる。なお、主審の許可を得て、用具を正すまたは負傷の処理で一時的に 6 人未満の場合はその限りではない。なお、速やかに復帰または交代して、6 人以上の競技者にするものとする。
- ④ 退場を命じられた場合は、交代要員の中からすぐに補充できる。主審は競技者の補充が行われる間は、試合を停止する。

2. 交代の手続き

- ① 交代して退く競技者は、交代ゾーン（両ベンチ間のハーフウェーラインから左右 3 M）からフィールド外に出る。
 - ② 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
 - ③ 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず、行う事ができる。
- ※①～③までの交代については、主審、補助審判の承認を受ける必要はない。
- ④ ゴールキーパーについてはアウトオブプレー時に主審に通告して行うことができる。交代して退くゴールキーパーは、主審から指示された場合を除き、境界線の最も近い位置からフィールドを出なければならない。代わりに入るゴールキーパーは交代ゾーンからフィールドに入る。
 - ⑤ 怪我の場合には、主審のコントロールにより、交代ゾーン以外（どこからでもフィールドを離れてもよい）から退出できる。

注：ゴールキーパーの負傷退場等により、緊急避難的にフィールドプレーヤーがゴールキーパーに代わる場合については、その競技者の番号等の表示を義務付けるものではない。

- ⑥ 4 審制の場合にはハーフウェーラインから副審とは逆サイド側だけに 3m の交代ゾーンを設置する。審判員と交代選手の衝突を防ぐために副審(A1)側には交代ゾーンを設置しない。

3. 不正入場に関して

選手の入替の際、交代要員が先にフィールド内に進入した場合、選手が戦略的に意図をもって進入したと主審が判断した場合のみ、不正入場した選手に警告（反スポーツ的行為）が与えられる。

不正入場を防止するために、チームにて選手に指導をすること。

交代は、該当選手同士で行うことが望ましいが、ベンチより監督、またはコーチが声で合図をし

ても良い。

4. 補助審判について

- ① 補助審判は、交代の手続が円滑に行われるように主審を援助する。
(競技者が交代ゾーンから出てから、交代要員が入ることを監視し指導する。)
- ② フィールド内の選手に交代することを伝える必要はない。

5. P K戦について

トーナメント戦でその試合の勝敗をつける場合には、両チーム3人ずつのP K戦を行う。3人ずつのキックを行い、同点の場合にはサドンデスとする。

6. その他

- ① キックオフシュートが直接相手ゴールに入った場合、相手チームのゴールキックで再開する。
- ② 上記以外の規則に関しては、日本サッカー協会競技規則に準ずる。

ユニフォーム規定

本規定においてユニフォームとは、シャツ、ショーツ、およびストッキングの3点を総称したものを言う。

＜ユニフォーム＞

- ① ユニフォームは、上衣（シャツ）、下衣（パンツ）、ストッキングの全てを正・副2着を用意し、~~ユニフォームは~~チーム名と選手固有の番号が入らなければならない。ただし、キーパーユニフォームについては番号を特定しないことができる。※

※ 従来は、キーパーがフィールドプレーヤーとして出場する場合は、特定の番号のフィールドプレーヤーユニフォーム正副とキーパーユニフォーム正副が必要であったが、キーパーユニフォームについては同一番号のフィールドプレーヤーがいなければ、誰でもが、そのキーパーユニフォームを着用して出場できる（背番号の管理はフィールドプレーヤーユニフォームの番号による）。また、背番号のないキーパーユニフォームの着用も認める。

例) 21 番のキーパーユニフォームの正副があり、その番号のフィールドプレーヤーがいなければ、どの選手でも 21 番のキーパーユニフォームを着て出場できる。

- ② ~~ユニフォームは、上衣（シャツ）、下衣（パンツ）、ストッキングの全てを正・副2着を用意する。（キーパーユニフォームの副については必須としない）~~

~~但し、~~14 B 3 年生大会に於いては、副がない場合にはビブスの着用を認める。

- ③ 東京都 U - 12 サッカーブロックリーグと他の 14 B 主催の大会が重複する場合、東京都 U - 12 サッカーブロックリーグの副の準備は免除する。また、両チーム同色になった場合、緊急避難的にビブスの着用を認める。

- ④ ~~3 年制採用大会は、キーパーユニフォームの副の準備は免除する。また、同一試合に出場するキーパーユニフォームは同色でなくとも出場を認める。~~

＜ユニフォームの色彩＞

- ① チームのユニフォームシャツ（ゴールキーパーのユニフォームを含む）の色彩は、審判員が通常使用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。

※フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともにユニフォーム（シャツ）の主たる色彩が黒色は不可とする。

- ② フィールドプレーヤーのユニフォーム前面と背面の色彩は同じであるものとする。また、デザイン、ロゴ等が異なっても、主たる色が同色系であれば着用することができる。

- ③ 主審が、対戦するチームのユニフォーム（ゴールキーパーのユニフォームを含む）の色彩が類似しており、判別しがたいと判断したときには、主審は、両チーム立会いのもとに、その試合において着用

するユニフォーム又はビブス等を着用することを決定する。

- ④ 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツおよびストッキングのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。

※14ブロック大会においては、試合前に対戦するチームの代表者同士が話し合い、本部に確認した後、判別しやすい組み合わせで準備をすること。

- ⑤ アンダーシャツ、アンダーショーツ、タイツの色は問わない。ただし、原則としてチーム内で同色のものを着用する。

<ユニフォームへの表示>

ユニフォームにはチーム名・選手番号を必ず表示するものとする。

① チーム名

- (1) チームエンブレム シャツの左胸100cm²を越えないサイズ
- (2) チーム名をエンブレム以外で表示する場合はシャツ前面または左胸300cm²
- (3) チームエンブレムはショーツ・ストッキングに表示することができる。
ショーツ 左右どちらか一ヶ所50cm²を越えないサイズ
ストッキング 左右一ヶ所ずつ50cm²/一ヶ所

② 選手番号

- (1) 選手番号は、服地と明確に区別し得る色彩（服地が縦柄の場合には台地を付ける）であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
- (2) 選手番号を付する場所およびサイズは、次の通りとする。
背番号サイズ 20cm×20cm～35cm×35cm
※身長150cm以下の選手等が着用する小さいユニフォームの場合は、サイズを適宜縮小することができる。
胸番号サイズ 8cm×8cm～15cm×15cm（右、左又は中央）
※選手番号は、固有の番号とすること。フィールドとキーパーを兼任する選手は、同番号のフィールドユニフォームとキーパーユニフォームを用意すること。3年生大会でも、同様とする。
- (3) 番号は整数の1から99を使用し、0は認めない。登録選手が100名以上の場合に限り、100以上の番号を認める。

（平成25年度全日本少年サッカー大会14ブロック予選より施行）

チームで用意するユニフォーム例

（フィールドプレーヤー [以下 FP]、ゴールキーパー [以下 GK]）

FP、GKとも、ユニフォームシャツの主たる色が黒色を使用することを禁止とします。

FP、GKとも、それぞれ正副、異なる色のユニフォームを用意する。

FP、GKとも、背番号と胸番号の入ったユニフォームを着用する。

<正しい例>

FP 正：赤（上）、白（下）、赤（ストッキング） 副：青（上）、青（下）、青（ストッキング）

G K 正：黄（上）、黄（下）、黄（ストッキング） 副：緑（上）、緑（下）、緑（ストッキング）

<失格となる例①>

F P 正：赤（上）、白（下）、赤（ストッキング） 副：青（上）、白（下）、青（ストッキング）

G K 正：黄（上）、黄（下）、黄（ストッキング） 副：緑（上）、緑（下）、黄（ストッキング）

<失格となる例②>

F P 正：青（上）、白（下）、黄（ストッキング） 副：赤（上）、赤（下）、白（ストッキング）

G K 正：紫（上）、赤（下）、赤（ストッキング） 副：緑（上）、緑（下）、黄（ストッキング）

変更履歴

更新日	変更内容
2021/03/27	<p>2020 年度版からの変更点は以下</p> <p>大会共通規定</p> <p>2. 競技規則 ③参考試合発生時の対処方法について規定。(変更)</p> <p>⑦メンバー表提出についての記載。(変更)</p> <p>⑭審判証の提示についてスマホ等による提示可能の記載。(修正)</p> <p>⑪ 給水タイムを用いる場合、クーリングブレイク（3分）を設ける場合は、 ピッチ及びベンチからの移動、戦術的指示も認める。(クーリングブレイク)の明確化</p> <p>⑰※第1、2ピリオド中に自由な交代はできない。(追記)</p> <p>大会別規定</p> <p>共通で2021年度は15分ハーフで実施する旨を記載。(追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・J A 東京カップ東京都5年生サッカー大会 14ブロック予選 トーナメント戦の順位決定方法。(修正) ・ハトマークフェアプレーカップ東京都4年生サッカー大会 14ブロック予選 トーナメント戦の順位決定方法。(追加) <p>ユニフォーム規定</p> <p>緩和規定を設定。(修正)</p>

改訂履歴（2021/4/7）

- ・ 8人制競技規則-2. 交代の手続き-④ ゴールキーパーについて入退場の場所を競技規則に準じて修正
- ・ ユニフォーム規定<ユニフォーム> キーパーユニフォームの緩和規定について追記・修正